平成２９年度事業報告書

（　平成２９年４月　１日から
　平成３０年３月３１日まで　）

一般財団法人　日韓産業技術協力財団

目　　次

Ⅰ．概　　要 …… 1

Ⅱ．理 事 会 …… 2

Ⅲ．評議員会 …… 3

Ⅳ．主要事業活動 …… 4

１．継続事業（産業技術人材交流事業）

（１）　日韓中小企業ビジネス促進事業

（２・３）日韓部品素材韓国商談会

日韓先進機器交流会

日韓先進機器併設セミナー

（４）　日韓部品素材東京商談会

（９）　企業現場人材育成事業　インターン実習プログラム

（１１）　次世代経営者交流事業

（１３）　日韓経済連携関連事業　シンポジウム

（１４）　各種調査・研究事業　SJC 企業経営研究会

（１５）　財団ホームページ整備

２．その他事業（日韓未来志向事業）

（２）日韓海外・地域間産業連携事業　第三国展開事業

（３）日韓海外・地域間産業連携事業　九州・韓国経済交流会議

（５）日韓海外・地域間産業連携事業　北陸・韓国経済交流会議

（６）日韓経済連携関連事業　新産業貿易会議

（７）日韓経済連携関連事業　日韓経済人会議

（９）新創造経済研究会

Ⅴ．日韓両財団「連絡協議会」及び「連絡協議会幹事会」の開催 …… １９

Ⅵ．事務局人事 …… ２２

Ⅶ．財団主要活動 …… ２３

Ⅰ．　概　　要

当財団設立後、事業を開始して以来２５年が経過した。日本政府、関係機関及び産業界等からの多大なご支援、ご協力により、活発かつ順調に事業を推進してきた。

平成２９年度は日韓次世代 ICT 経営者交流会（事業名：新創造経済研究会）を立ち上げ、企業現場人材育成事業(インターン実習プログラム)、次世代経営者交流事業、日韓共同の第三国展開事業、商談会等の事業の充実を図った。

平成２９年度は主に政府からの拠出金１５９,４７４千円（外務省１８,９６２千円、経済産業省１４０,５１２千円）を得て運営並びに事業を実施した。

１．当年度中、理事会４回、評議員会１回を開催し、財団運営の重要事項について審議、議決を行った。

２．平成２９年度は、平成２８年度第２回理事会で承認された事業計画に従い下記事業を実施した。

【共同】: 韓日財団との共同事業

１）継続事業（産業技術人材交流事業）１０事業

（１）日韓中小企業ビジネス促進事業

（２・３）日韓部品素材韓国商談会　【共同】

日韓先進機器交流会

日韓先進機器併設セミナー

（４）　日韓部品素材東京商談会　【共同】

（９）　企業現場人材育成事業　インターン実習プログラム　【共同】

（１１）次世代経営者交流事業　【共同】

（１３）日韓経済連携関連事業　シンポジウム　【共同】

（１４）各種調査・研究事業　SJC 企業経営研究会

（１５）財団ホームページ整備

２）その他事業（日韓未来志向事業）６事業

（２）日韓海外・地域間産業連携事業　第三国展開事業　【共同】

（３）日韓海外・地域間産業連携事業　九州・韓国経済交流会議

（５）日韓海外・地域間産業連携事業　北陸・韓国経済交流会議

（６）日韓経済連携関連事業　新産業貿易会議　(財団・協会共同事業)

（７）日韓経済連携関連事業　日韓経済人会議　(財団・協会共同事業)

（９）新創造経済研究会　【共同】

以　上

Ⅱ．　理　事　会

今年度の理事会の概要は以下のとおりである。なお、表決が必要な事項については、すべて原案どおり異議なく承認された。

１．第１回理事会

１）日　時　　平成２９年６月１６日（金）　午後３時２０分～午後３時５５分

２）場　所　　三菱商事ビル

３）議　題　　第１号議案　平成２８年度事業報告書、財務諸表及び公益目的支出計画実施報告書の承認の件

第２号議案　平成２９年度第１回評議員会招集の件

４）報告事項　代表理事及び業務執行理事の職務の執行の状況の報告

２．第２回理事会（書面決議）

１）理事会の決議があったものとするとみなされた日　平成２９年６月２９日（木）

２）決議事項　　第１号議案　理事長、副理事長、専務理事及び常務理事選定の件

３．第３回理事会（書面決議）

１）理事会の決議があったものとみなされた日　　平成２９年１２月１５日（金）

２）決議事項　　公益目的支出計画変更の件

４．第４回理事会（書面決議／書面通知）

１）理事会の決議があったものとみなされた日及び理事会への報告を要しないものとされた日　　平成３０年３月２９日（木）

２）決議事項　　第１号議案　平成３０年度事業計画(案)承認の件

第２号議案　平成３０年度収支予算(案)承認の件

３）通知事項　　公益目的支出計画の完了予定年月日の変更の件

以　上

Ⅲ.　　評　議　員　会

今年度の評議員会の概要は以下のとおりである。なお、表決が必要な事項については、すべて原案どおり異議なく承認された。

１．第１回評議員会

１）日　時　　平成２９年６月２９日（木）　午前１１時～午前１１時３５分

２）場　所　　三菱商事ビル

３）議　題　　第１号議案　平成２８年度事業報告書、財務諸表及び公益目的支出計画実施報告書の承認の件

第２号議案　任期満了に伴う理事及び監事選任承認の件

第３号議案　任期満了に伴う評議員選任承認の件

４）報告事項　①平成２９年度事業計画

②平成２９年度収支予算

以　上

Ⅳ.　主 要 事 業 活 動

事業名	１．継続事業（産業技術人材交流事業） （１）日韓中小企業ビジネス促進事業
事業内容	日韓間のビジネスを展開したいが言葉の壁、情報不足等で悩んでいる中小企業を支援して日韓ビジネス連携の促進を図る。 日韓でビジネスを希望する企業の個々の相談に応じて成約に至るまで助言・支援を日常的に行う。IT を活用して企業情報・商品情報をネット上で紹介し、韓国との製品・商品の売買、生産委託/受託、技術提携・事業提携等に関心のある企業を支援する。その手段としてビジネスマッチングサイト(日韓中小企業情報交流センター・JK-BIC)を運営し、ビジネス相談・企業情報登録を常時可能とする。さらに個別商談を希望する企業同士の商談アレンジ・同行、アドバイス等を提供する。

実施状況

支援した内容は以下の通りです。

・パートナー探し　・企業調査、信用情報提供　・コミュニケーション仲介／交渉
・ビジネス文書の翻訳　・個別商談のアレンジ／同行／通訳
・韓国市場リサーチ　・韓国経済関連各種情報リサーチ 等

事業推進の為、専用 HP『http://jk-bic.jp/』を運営し、随時新しい情報を更新した。
（平成 29 年度**サイト閲覧数： 13，208 件**）
センター利用者のため、広報ツール（パンフレット、ポスター）を活用し、「韓国ビジネスガイド（冊子）」、「韓国企業リスト（機械/機械部品）（CD）」などの情報を提供した。さらに中小企業を対象とした**展示会へ出展(5回)**し、積極的に広報活動とネットワークの充実を図った。

開催期間	展示会名称	場所	備考
2017/5/24～5/27（3 日間）	第 8 回釜山国際機械大展（BUTECH）	韓国・釜山	初出展
2017/10/18～10/20(3 日間)	モノづくりフェア 2017	福岡	
2017/11/29～12/1（3 日間）	モノづくりマッチング Japan2017	東京	初出展
2017/12/12～12/13（2 日間）	オキナワベンチャーマーケット	沖縄	
2018/2/7～2/9（3 日間）	テクニカルショウヨコハマ	横浜	

【 事業成果概要 】
言語・商習慣の違い等の壁を取り払い、質の高い情報を通じたビジネス交流を常時可能とし、
新規相談受付/対応５１件、成約３件実施の成果を達成することができた。

ビジネス相談件数	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
日本企業からの相談	4	2	5	6	2	0	1	3	3	3	3	1	３３
韓国企業からの相談	3	7	1	－	1	1	－	2	1	1	－	1	１８

事業名	１．継続事業（産業技術人材交流事業） （２・３）日韓部品素材韓国商談会（韓国開催）【共同事業】 （４）日韓部品素材東京商談会（日本開催）【共同事業】
事業内容	両国の中小企業連携による相互補完関係構築を目的として、日韓中小企業商談会を 2003 年度から継続実施しており、その第 27 回を「日韓部品素材東京商談会」と称し東京にて、第 28 回を「日韓部品素材韓国商談会」と称しソウルにて、日韓両国財団の共催事業として開催し、その運営を担当した。

実施状況

１．第 29 回 日韓中小企業商談会（日本企業訪韓、ソウル開催）

１）日程・場所：平成 29 年 9 月 27 日　ロッテホテルソウル 3 階サファイアボールルーム

開催形態：両財団主催（「韓日産業技術フェア 2017」主要プログラムの一つとして実施）
後援：経済産業省（日本）、産業通商資源部（韓国）

２）主要日程：

9 月 26 日(火)	午後	日本企業韓国到着、会場確認、日本企業交流会
9 月 27 日(水)	9:00～12:00	商談会実施（午前の部）
	13 : 00～18:00	商談会実施（午後の部）
9 月 28 日(木)		日本企業帰国

３）商談会結果：日本企業 23 社、韓国企業 64 社が参加、合計 87 件の商談を実施。
4 ケ月後フォローアップ調査の結果、成約 3 件、商談継続中 36 件。

＊日本企業コーディネート業務委託先：(株)矢野経済研究所

２．第 28 回 日韓中小企業商談会（韓国企業来日、東京開催）

１）日程・場所：平成 29 年 6 月 22 日　品川プリンスホテル･メインタワー「エメラルド 28」

２）開催形態：両財団主催
後援：経済産業省（日本）、産業通商資源部（韓国）

３）主要日程：

6 月 21 日(水)	午後	韓国企業来日､展示会見学､参加企業交流会 （韓日財団の単独事業として実施）
6 月 22 日(木)	9:40～10:00	開会式（両財団専務理事挨拶）
	10:00～18:00	商談会実施（日韓財団が運営を主担当）
6 月 23 日(金)		韓国企業 帰国

４）商談会結果：韓国企業 16 社、日本企業 32 社が参加し、合計 73 件の商談を実施。
5 ヶ月後フォローアップ調査の結果、成約 1 件、商談継続中 23 件。

＊日本企業コーディネート業務委託先：三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング(株)

事業名	１．継続事業（産業技術人材交流事業） （２・３）日韓先進機器交流会
事業内容	日韓先進機器交流会は第 24 回九州・韓国経済交流会議及び第 16 回環黄海経済・技術交流会議（日中韓）の中の九韓ビジネス商談会と同時開催で実施。内容は九韓ビジネス商談会（主に九州企業と韓国企業の観光商品/食品の輸出入商談）とは別に商談参加企業を日本全国の防災機器製造販売企業で韓国への輸出希望社に絞り実施。
実施状況	**「第 3 回　日韓先進機器交流会」** １）開 催 日：　平成 29 年 11 月 30 日（木） ２）開催場所：　鹿児島県鹿児島市　城山観光ホテル ３）参加社数：　予算の都合上、 日本側 3 社　韓国自治体　4 自治体 商談件数　のべ 9 件、情報交換 9 件 ＜主な参加者＞ ・日本側：大藤エンジニアリング㈱　愛知県　多言語放送メガホン他 エジソンハードウエア㈱　東京都　非常用多言語放送製品、モバイル端末 パナック㈱　東京都　プラスティック製品（ご遺体用袋） ＜結果＞　商談件数　のべ 9 件、情報交換 9 件 ＜総括＞　九州・韓国経済交流会議は鹿児島市にて 11/29-30 の予定で行われたが、九州・韓国経済交流会議内の九韓ビジネス商談会と本件は会場費等のコストを考慮し、同時開催で行った。本件は単独事業として行った為、日本企業から韓国への売り込みに特化した。 地震/台風等の災害が少ない韓国はそもそも防災意識が薄く、日本の多彩な経験に基づく様々な防災機器がどう評価されるか、不安があった。 しかし、2017 年には慶州や釜山で地震（M4 クラス）や台風上陸などもあり、少しずつではあるが、防災意識も出てきたこともあり、実施した。 今回は日本で行うことで輸入側の韓国企業の募集と訪日勧誘に苦労したが、韓国の地方自治体関係者との商談/情報交換がセットできた。 日本企業の製品は豊富な経験値で製造されており、競争力があると思料する。 2018 年は、韓国開催予定なのでこのコンセプトで、韓国側バイヤーを集め、再度、防災機器でチャレンジする。

事業名	１．継続事業（産業技術人材交流事業） （２・３）日韓先進機器併設セミナー
事業内容	これからの新分野で日韓間でビジネスチャンスに成りうるものを、経済交流会議等の場でセミナーを実施し、日韓の経済人の中で関心を喚起して新分野を開拓していく。 交流会で新聞やの商談会を実施し、それを補完、理論的にバックアップする形で、セミナー、もしくは講演を行う。
実施状況	環黄海ビジネスフォーラム １）日　程：11 月 30 日（木）　9：00－12：30 ２）場　所：鹿児島県鹿児島市　城山観光ホテル　２階ロイヤルガーデン ３）参加者：九州・韓国・中国３ヶ国代表団　約２００名 ４）内　容 ・主催者挨拶 ・環黄海地域での取組事例 ＜環境・エネルギー産業＞ 【日本】「鹿児島県の再生可能エネルギーの取組について～海流発電～」 鹿児島県企画部エネルギー政策課長　本 一郎 氏 【韓国】「済州特別自治道での再生エネルギー開発方針、EV 普及拡大等の政策紹介」 済州大学校　教授　金鎬民 氏 【中国】「省エネ環境保護産業の発展による河北省の革新と進化の促進」 河北省商務庁　副庁長　張鋒氏 ＜物流・商流＞ 【日本】「イノベーションによるグローバル物流の拡大」 学校法人中村学園大学流通科学部　准教授　小林 修 氏 【韓国】「グローバル物流の動向と韓中日協力案」 韓林海運㈱　代表理事　李漢烈 氏 【中国】「OFO によるインテリジェント交通の向上」 OFO 共用自転車　共同設立者　于信 氏 「北京におけるさらなるサービス産業の調査と実証」 北京市商務委員会　副処長　郭紅雨 氏 ＜医療・ヘルスケア産業＞ 【日本】「介護職のイメージチェンジを目指して －介護ロボットの活用とその成果－」 社会福祉法人野の花会　法人本部 理学療法士・博士(医療福祉学)アルテンハイム加世田　楠元 寛之 氏 【韓国】「医療ヘルスケア業界の動向と日中韓の３カ国の協力の課題」 大韓貿易投資振興公社　日本地域本部　本部長　趙恩鎬 氏 【中国】「塩城市年金の特徴の構築と日韓による実践的な協力促進」 江蘇省塩城市　副市長　蒋巍 氏 「日本と韓国の健康年金産業の新しいアイデアと新技術導入による煙台市国家健康モデルの構築」 煙台市投資促進局　局長　陳 新姿 氏 ＜全分野共通＞ 「異常気象で増大する世界の災害被害の削減に、優れた日本の防災技術で打って出る！」 (一社)日本防災プラットフォーム　事務局長　土井 章 氏 ・質疑応答 ＜概要＞これからの新分野で日韓の連携を模索する企画として、韓国の防災意識の高まりを補完、日本の優れた防災機器への関心を喚起し、同時開催の日韓先進機器交流会(防災機器)を理論的にバックアップする意味で第 24 回九州・韓国経済交流会議の中のビジネスフォーラムで「異常気象で増大する世界の災害被害の削減に、優れた日本の防災技術で打って出る！」と題し、(一社)日本防災プラットフォームの土井事務局長による講演を行った。 ＜総括＞日韓に中国の関係者も加わり、日本がリードする「防災」をテーマに講演を行えた。防災は悲しい経験に基づくものであるが、日本にとってはビジネスチャンスに成りうる領域であり、今後の展開が楽しみである。

事業名	１．継続事業（産業.技術交流事業） （９）企業現場人材育成事業　インターン実習プログラム　【共同事業】
事業内容	・韓国の大学生を在韓日系企業に派遣し１か月間実習することにより、日本企業の仕事の進め方を学ぶと共に、日本の企業カルチャーに触れることで日本の理解を深める。 ・在韓日系企業が韓国で行っているＣＳＲ活動や社会貢献活動についても学ぶ。 ・将来的には有望な学生を在韓日本企業へ紹介する仕組みを構築する。
実施状況	1．対象者 ・韓国の大学生（３年～５年生）で本事業の趣旨を理解し真摯に勤務できる者。合計 51 名。 2．選考方法 ・ソウル、京畿道、仁川、大邱、釜山、昌原、光州の 110 の大学から広く募集して選定。 ・第１次：書類選考、466 名応募→180 名に選抜 第２次：面接で選抜、180 名面接→51 名に選抜 ＊最終的に学生の希望と日系企業の受入れ職場の希望のマッチングを行った。 3．事業の仕組み ①学生は財団と雇用契約を結び、財団の社員として日系企業で実習する。 学生は財団の社員として勤務報告を毎日提出し、財団は実習中の学生の健康管理、勤務管理等のフォローを行い、学生の実習が充実した内容になる様に援助する。 学生は実習の対価として 150 万ウォンを財団から受け取る。 （通勤費、ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ・ﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟ研修の参加費用も含む。） ②受入れ企業は学生を正社員と同様に扱い、業務を通じた育成を行いながら業務遂行させる。学生には職場先輩を付け丁寧にフォローする。（財団が賃金、雇用保険等の費用を負担し、労務管理も行う為、無料の派遣社員として業務指導に専念する。） ③財団は韓国で人材派遣免許を持っているパーソルコリアと契約し一緒に学生の指導、労務管理を行う。 4．事業実施概要 ・オリエンテーション：　6 月 29 日(木)13：00～16：30 ・企業実習：7 月 3 日(月)～9 月 27 日(水)の中で 1 か月間 ＊実習中に事務局が企業訪問し、学生と職場先輩・企業代表者と面談し、実習をフォロー。 ・フォローアップ研修・修了式：9 月 28 日(木)13：00～15：45 5．事業結果 ・実習生全員が、突発欠勤や途中放棄もなく無事実習を終了。 ・学生からは「就職前にこの様な実務経験ができ、これからの人生にとってかけがえのない経験になった」「仕事はできなかったが、それ以上に人生にとって貴重な体験をした」等の感想が多く寄せられた。 ・受入れ企業 2 社が、実習後に実習生 2 名を正規社員として雇用。

事業名	１．継続事業（産業技術人材交流事業） （１１）次世代経営者交流事業　【共同事業】
事業内容	日韓両国の次世代の中小企業経営者が、メコン経済圏の中心のタイの進出企業を視察し、海外進出の課題について議論し、相互理解と相互研鑽を行い、ビジネス協力関係を構築する。
実施状況	1．対象者 ・日韓の中小企業の製造企業の次世代経営幹部(日本：８名、韓国：９名　合計 17 名) ＊日本側参加者は地方の経営者団体に協力要請を実施 →栃木県経済同友会、土佐経済同友会から推薦頂いた経営者クラスが３名参加。 2．事業概要： **（1）事前会合・夕食懇談会** 日程：10 月 20 日(金)16：00～20：00、自己紹介と事業の狙い・概要を説明 **（2）交流会** 日程：2017年11月12日（日）～15日（水）３泊３日 宿泊：タイ・バンコク　プルマンバンコクグランドスクンビットホテル 内容：11月12日(日)：・バンコク集合、オリエンテーション、自己紹介、 ・グループごとの懇親会 11月13日(月)：・工場の視察→ＫＩＹＡ　ＣＯＲＰＯＲＡＴＩＯＮ ＊タイ・ヘマラートチョンブリ工業団 ・グループ討議・全体討議 ＊進出間もない参加者の工場を視察。海外進出の現状と課題についてグループ討議・全体討議 ・夕食懇親会・ノミュニケーション 11月14日(火)：・工場視察→タイ・アロー・プロダクト ＊タイ・チャチューンサオ ・グループ討議・全体討議・発表 ＊長年タイでビジネスを行って現地化、コスト削減、品質向上で成功している企業現場を視察後に経営課題の掘下げを実施。 ・講話・懇談 ＊アセアン全域の物流を行っている企業トップからメコン流域の発展状況とその課題について講話・懇談を実施 (タイ日本郵船。田中社長) ・夕食懇談会 11月15日(水)：朝解散 3．事業結果 ・海外進出の現場視察と同世代の同じ立場の経営者クラスがお互いに課題や抱負について議論することにより、経営の参考になると同時に日韓の経営者クラスの交流が深まった。

事業名	１．継続事業（産業技術人材交流事業） （１３）日韓経済連携関連事業　シンポジウム　【共同事業】

事業内容

１つの経済圏形成を目指す日韓両国による、お互いの強みを生かした経済連携の第三国での連携などを教材に日韓経済に役立つ企業の経済交流の調査・シンポジウムを行う。
今回は7月18日～21日に行った「日韓第３国経済連携モンゴルミッション」のスケジュールの中で、ウランバートル市でミッション参加者、現地日韓政府系機関、現地日韓ビジネスマン、モンゴルビジネスマンを招きシンポジウムを行った。

実施状況

１．実施状況

期　間	２０１７年7月１９日（水）
場　所	モンゴル　ウランバートル　シャングリラホテル
参加者	36名
日　程	内　容
7/19(水)	1）主催者挨拶　韓日産業技術協力財団　徐　錫崇　専務理事 日韓産業技術協力財団　木村　慎一郎　常務理事 2）講演　①「日本・モンゴルビジネス状況 」 在モンゴル日本大使館　井上書記官 ②「韓国・モンゴルビジネス状況と再生可能エネルギー」 在モンゴル韓国大使館　Park Heon Jin 一等書記官 ③「モンゴルでの農業６次産業化と再生エネルギー」 FarmDo 井上社長　Everyday Farm ｼﾞｸﾞｼﾞｯﾄ社長 3）参加者全員によるディスカッション 三菱千代田ジョイントベンチャー　桂島所長、両国現地商工会、韓国SJ社事業紹介含む 4）歓迎懇親会　両国大使他、現地日韓関係者が参加

２．成果概要等

今回は第３国視察ミッションの行程内でシンポジウムを現地で開催した。
モンゴルでは日韓とも最終消費財ではライバルであるが、インフラ、農業、再生可能エネルギー等の分野では協力の可能性がある。シンポジウム直前に視察した、三菱千代田ジョイントベンチャーがサムスンC&Tと組んで手がけた、新ウランバートル国際空港建設などを間近で視察し、シンポジウムではより具体的な発表、ディスカッションになった。

事業名	１．継続事業（産業技術人材交流事業） （１４）各種調査・研究事業　SJC 企業経営研究会
事業内容	本事業は調査・広報事業の一部として、既に韓国で生産・営業活動を営んでいる日系進出企業の現地経営の高度化を支援。（ソウルジャパンクラブ(SJC)経営研究会の支援）

実施状況

在韓日系企業における経営技術向上のための、経営ノウハウの交流促進、韓国産業・経済等に関する学習の場を提供する。

（１）経営研究セミナー

日時	会場	テーマ	講師	参加者数
9/11（月） 16 時～18 時（通算 69 回）	大韓商工会議所 Council Chamber	「文在寅大統領の政策が韓国経済に及ぼす影響」	ソウル大名誉教授 呉　鍾南氏	130 名
1/9（火） 16 時～18 時（通算 70 回）	大韓商工会議所 Council Chamber	「2018 年外国為替相場見通し～主要通貨とウォン相場の動向～」	三菱東京 UFJ 銀行 グローバルマーケット リサーチ・チーフアナリスト 内田　稔氏	140 名

（２）企業経営研究会

テーマ	場所	日程	参加人数
第１回（通算 46 回） 「慶北地域(永川・亀尾・安東)の投資環境と景気状況」	訪問先：永川産業団地 Daicel Safety Systems Korea(DSSK) 慶尚北道庁 亀尾ハイテクバレー	6 月 9 日（木）～10 日(金)	28 名
第２回（通算 47 回） 「済州特別自治道の投資環境と景気状況」	訪問先：済州特別自治道庁 JDC(JejuFreeInternationalCityDevelopmentCenter）先端科学技術団地 済州英語教育都市	11 月 2 日(木)～3 日（金）	19 名

事業名	１．継続事業（産業技術人材交流事業） （１５）財団ホームページ整備
事業内容	財団パンフレットの更新、既存のホームページの充実及び更新等を通じて、財団事業に関する情報を積極的にＰＲする他、各種資料の公開及び更新。
実施状況	日韓財団の「ホームページ（HP)」のより一層の充実を図り、随時新しい活動内容を情報開示すると共に、基幹データを更新した。 財団の実績及び成果事例、事業計画・収支予算・事業報告書、決算書等もアップデートし、掲載した。 また、各事業の終了時には、写真を取り込み結果報告などタイムリーに掲載する等、財団事業活動の PR に貢献した。 入札に関しては財団事業の業務委託の案内（説明会含む)、及び選定結果を掲載し、周知した。

事業名	２．その他事業（日韓未来志向事業） （２）日韓海外・地域間産業連携事業　第三国展開事業　【共同事業】
事業内容	１つの経済圏形成を目指す日韓両国による、お互いの強みを生かした経済連携の第三国での進出事例研究を行う。アジア圏を中心に日韓企業による共同進出（資源・インフラ・高齢化社会対応）の現場視察と研究発表、より一層の共同進出促進の可能性を探る。 ２０１７年には「日韓第３国経済連携モンゴルミッション」を行った。
実施状況	＜日時・場所＞2017 年 7 月　モンゴル　ウランバートル ＜参加者＞　日韓経済協会会員各社/SJC/JETRO 等 16 名 韓日経済協会会員各社　13 名 ＜実施日程等＞ 7/18　ウランバートル着　日韓参加者交流会　宿泊 7/19　午前：新ウランバートル国際空港（三菱商事・千代田化工建設+サムスン C&T 視察 午後：日韓第３国経済連携シンポジウム、レセプション（現地日韓ビジネスマン交流会） 7/20　午前：ウランバートル第４火力発電所（三菱日立ﾊﾟﾜｰｼｽﾃﾑｽﾞ、横河電機改修中） 午後：韓国大使館、FarmDo 農場+ソーラー発電所 7/21　帰国 ＜総括＞ 今回は東アジアでしかも極寒の地であるモンゴル　ウランバートルでの日韓経済連携の現場と可能性の探究というテーマでミッションを実施した。実際、日韓の協働事業である新ウランバートル国際空港を視察し、また、日本企業による能力アップ改修工事中のウランバートル第４火力発電所も視察した。空港の方は主が日本企業、従が韓国企業という垂直連携であるが極寒の地という条件のもと、韓国企業による建設工事という相互補完の見本のようなものであった。また、日本企業による第６次産業化した農業とソーラーのプロジェクトは、農産物の自給率の低いモンゴルにおいて、農業の事業化というモンゴルの社会基盤の整備支援という形で是非、ものになってほしいプロジェクトであるし、そこの野菜工場的栽培機材は韓国製であった。今後、このプロジェクトは場所を増やして、韓国政府の ODA とも共同していくと聞いている。

事業名	２．その他事業（日韓未来志向事業） （３）日韓海外・地域間産業連携事業　九州・韓国経済交流会議
事業内容	九州・韓国両国の交流を支援することにより、両国間の貿易・投資・産業協力を促進する。「九州・韓国経済交流会議」は、両国政府、地方自治体、民間団体を中心に、1993 年度より毎年度実施。(隔年で日本・韓国内で年１回開催)。今回で２４回目を数える。

実施状況

期　間	11 月 29 日（水）～11 月 30 日（木）
場　所	鹿児島県鹿児島市　城山観光ホテル
参加者	約 220 名の日韓の関係者（+中国関係者 80 名）

日　程	内　容
11/29(水)	韓国側来日 11：30－15：00　韓国側産業視察　黒酢工場/ソーラー発電所/仙巌園 16：00－17：30　九州韓国経済交流会議
11/30(木)	午前：　日中韓３カ国政府間局長会議 環黄海ビジネスフォーラム 食・観光フォーラム 九韓ビジネス商談会 午後：　環黄海本会議 夜：　３カ国歓迎レセプション

総括

今回は隔年開催の九韓会議と３年に一回、幹事国を担う日中韓環黄海会議が同時開催となった。九韓会議は第 24 回、環黄海は第 16 回であり、会議、ビジネスフォーラム、商談会と盛りだくさんの会議となった。日韓産業技術協力財団は九韓会議開催支援に加えて、併催とした先進機器交流会と先進機器セミナーも同時開催として実施した。

事業名	２．その他事業（日韓未来志向事業） （５）日韓海外・地域間産業連携事業　北陸・韓国経済交流会議
事業内容	日韓両国の地域間交流を支援することにより、両国間の貿易・投資・産業協力を促進する。 「北陸・韓国経済交流会議」は、両国政府、地方自治体、民間企業・団体を中心に、2000 年度より毎年１回、日本・韓国交互に開催継続中。

実施状況

「第 18 回北陸･韓国経済交流会議」

１）開 催 日：　平成 29 年 8 月 26 日（土）～30 日（水）

２）開催場所：　慶尚北道　安東市　安東グランドホテル

３）参加者数：　日本側　137 名

　　韓国側　55 名

＜主な参加者＞

・日本側：経済産業省中部経済産業局、経済産業省通商政策局韓国室、国土交通省北陸地方整備局、北陸経済連合会、北陸 AJEC、富山県、石川県、福井県、富山県商工会議所連合会、石川県商工会議所連合会、福井県商工会議所連合会、日本貿易振興機構、日韓産業技術協力財団、北陸産業活性化センター、関係企業、大学、研究機関など 50 名

・韓国側：産業通商資源部、慶尚北道、江原道、大邱広域市、蔚山広域市、安東市、韓日経済協会、大韓貿易投資振興公社、経済団体、関係企業、大学、研究機関など 118 名

４）会議プログラム構成：

8 月 28 日(月)	9:00	代表団顔合わせ
	9:30～12:00	全体会議
	昼	午餐交流会
	午後	分科会
	18:00～20:00	歓迎交流会（慶尚北道）
8 月 29 日(火)	9:00～10:00	慶尚北道庁視察
	13:00～14:00	東レ尖端素材㈱　亀尾工場
	19:00～21:00	北陸圏人会ソウル会合
8 月 30 日(水)		帰国

＊日本側事務局：北陸環日本海経済交流促進協議会（北陸 AJEC）

事業名	２．その他事業（日韓未来志向事業） （６）日韓経済連携関連事業　新産業貿易会議
事業内容	日韓経済人会議に先立ち識者により日韓共通の問題を議論し経済人会議に報告上程する場として定着。従来は日韓経済協会と韓日経済協会の共催であったが日韓産業技術財団並びに韓日産業・技術協力財団も共催に加わった。
実施状況	＜プログラム＞

第１９回新産業貿易会議基本日程(案)

２０１８年３月２８日～２９日

於：ホテルオークラ東京別館

テーマ：『 第５０回日韓経済人会議をともに喜び、経済・人材・文化交流を通じて次の５０年を創造しよう！』

2018.03.22

日程	時間	内容
3/28（水）	18:00～20:00	日韓共同開催 レセプション　（12Ｆ　ケンジントンテラス）
3/29（木）	09:00～	※ 受付開始　Ｂ２Ｆ　アスコットホール
	09:30～09:40	麻生　泰 ：　日本側チェアマン挨拶 安　宗　原 ：　韓国側チェアマン挨拶
	09:40～10:00	高田伸朗　：　日本側コ-デイネ-タ-挨拶 李 洙 喆　：　韓国側コ-デイネ-タ-挨拶 是永和夫 ：　日韓経済協会専務理事挨拶 徐 錫 崇　：　韓日経済協会副会長挨拶
	10:00～10:50	**セッション(Ⅰ) テーマ：日韓経済連携　ミクロ＆マクロ** ○ 日本側 発表者　：　藤吉　優行 ソウルジャパンクラブ理事長 / 韓国三菱商事株式会社　代表理事社長 ▸発表主題　「ソウルジャパンクラブ　2017年度活動報告・２０１８年の課題」 ○ 韓国側 発表者　：全海尚(ジョン・ヘサン) 東レ尖端素材(株) 代表理事社長 ▸発表主題　「東レ尖端素材の成功要因を通して見た　韓日経済協力・交流の拡大」
	10:50～11:30	○　自由討論
	11:30～13:00	昼食（松花堂弁当）
	13:00～13:40	**セッション(Ⅱ)：「次の50年・次世代・文化・観光交流」** ○ 日本側 発表者　：　田中　英士 株式会社博報堂　TOKYO 2020推進室　推進二部長 ▸発表主題　「東京オリンピック・パラリンピックをプラットフォームにした日韓文化交流」 ○ 韓国側 発表者　：　申珏秀(シン・カクス) 法務法人世宗 顧問 ・前 駐日韓国大使 ▸発表主題　「共に夢見る21世紀の韓国と日本　-共生と協力の善隣関係-」
	13:40～14:20	○　自由討論
	14:20～14:40	Coffee Break
	14:40～15:10	全体討議
	15:10～15:30	両国コ-デイネ-タ-総括 両国チェアマン総括 両事務局挨拶

事業名	２．その他事業（日韓未来志向事業） （７）日韓経済連携関連事業　日韓経済人会議
事業内容	日韓経済人会議は日韓の経済人が両国共通の問題を取り上げ議論し両国政府に対する提言をまとめる場として回数を重ね今回で４９回目を迎える日韓有数の会議として定着している。 今回はソウルにて日韓経済協会、日韓産業技術協力財団と韓日経済協会、韓日産業・技術協力財団の共催で行われた。

実施状況

1. 日時	2017 年 9 月 26 日（火）～27 日（水）		
2. 場所	ロッテホテル　ソウル		
3. 参加者	日韓経済人 総勢 300 名		
4. 会議概要	9 月 26 日	14：30～15：20	開会式（両国団長挨拶、来賓挨拶）
		15：20～15：45	韓日産業協力功労者褒章
		16：00～16：40	基調講演
		16：40～17：05	日韓新産業貿易会議報告
		18：00～19：30	共同開催レセプション
	9 月 27 日	09：00～11：30	全体会議：第 1 セッション
		11：45～13：10	共同声明案審議
		13：20～15：40	全体会議：第 2 セッション
		16：00～16：20	閉会式
		16：30～17：00	共同記者会見

＜共同声明＞未来志向の日韓関係の方向性を確認し、資源・インフラ輸出等第 3 国における協業の拡大、次の 50 年を担う日韓青少年の育成・交流の拡大、平昌・東京両オリンピックパラリンピック成功へ相互協力、日本の雇用問題（人手不足）、韓国の就職難等両国が直面する社会課題解決に向けた相互協力など緊密に連携していくことで合意した。

事業名	２．その他事業（日韓未来志向事業） （９）新創造経済研究会　【共同事業】
事業内容	日韓の IT 関係のスタートアップ経営者を対象にした交流会を開催。
実施状況	1．対象者 ・日韓のスタートアップ及び日韓のスタートアップへの支援企業 韓国（スタートアップ:12社、アドバイザー:3社） 日本（スタートアップ:９社、アドバイザー:7社） 合計：31社（スタートアップ・21社/アドバイザー・10社）、37名が参加 2．事業概要： **(1)　事前会合** ・日時：2018年2月22日（木）15：00～17：30、会場：リファレンス新有楽町ビル205号室 ・内容：①ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ(15：00～15：20)：協会/財団の紹介、事業の狙い・概要説明 ②参加者自己紹介(15：20～16：00)：企業紹介と参加の抱負(２～３分/名) ③講演会(16：00～17：00) テーマ：「第4次産業革命対応を目指す日韓のICT分野の取組み」 講　師：マルチメディア振興センター 主席研究員三澤かおり氏 ④ICT経営者交流プログラム説明(17：00～17：15) ⑤質疑懇談(17：15～17：30) **(2)　交流会** 3月7日(水)　13：00：Born2Global(韓国･板橋)に集合、Born2Globalの見学 13：30-14：10：講話(金ｼﾞｮﾝｶｯﾌﾟ所長、Born2Globalの現状と課題について) 14：10-15：30：全体討議(自己紹介) 15：30-17：00：グループ討議(下記のテーマのうち１つを選択して討議) ①アライアンスにおける経営課題 ②製品開発と販売ネットワーク構築の課題 ③起業化時の経営課題 17：00-17：30　発表（10分）全体（10分）　コメント（10分） 18：00-19：30　夕食懇談会 20：30-22：00　ノミュニケーション 3月8日(木)　8：30-9：30　グループ討議 9：30-10：20　発表（10分）全体討議（30分）コメント（10分） 10：20-10：40　休憩 10：40-11：00　発表（10分） 11：00-12：00　全体討議、まとめ 12：00-13：30　昼食懇談会＜立食ビュフェ＞ 13：30　解散

Ｖ．日韓両財団「連絡協議会」及び「連絡協議会幹事会」の開催

１９９２年６月に日韓両国政府間で合意された「日韓貿易不均衡是正等のための具体的実践計画」の中で両国の「産業技術協力財団」が協力して業務を実施していくよう連絡協議会を設置することが定められており、その下部機関として幹事会を設け、必要により随時協議することとなっている。

１．第２４回日韓･韓日両財団連絡協議会は下記のとおり開催､朝食をとりながらの自由討議。

日　時：２０１７年９月２７日（水）

場　所：ロッテホテルソウル　36Ｆ　Berkeley Suite

出席者：

（日本側）

委員長	佐々木幹夫	理事長
委　員	麻生　　泰	日韓経済協会 副会長
〃	上田　勝弘	副理事長
〃	岡　　素之	日韓経済協会 副会長
〃	清原　當博	副理事長
〃	古賀　信行	日韓経済協会 副会長
〃	井水　治博	日韓経済協会 副会長
〃	小平　信因	日韓経済協会 諮問委員会副会長
〃	藤吉　優行	SJC 理事長
〃	是永　和夫	専務理事

（韓国側）

委員長	金　　鈗	理事長
委　員	朴　在　弘	理事
〃	李　相　俊	理事
〃	嚴　致　成	理事代理
〃	金　熙　勇	韓日経済協会 副会長
〃	朴　仁　求	韓日経済協会 副会長
〃	金　江　熙	韓日経済協会 常任理事
〃	李　洙　喆	韓日経済協会 常任理事
〃	李　泳　官	韓日経済協会 常任理事
〃	徐　錫　崇	専務理事

２．第２５回日韓・韓日両財団連絡協議会幹事会は下記の通り開催された。

【全体会議】

日　時：２０１７年7月１０日（月）

場　所：三菱商事ビル

議　題：（１）２０１７年度共同事業中間報告

（２）２０１８年度共同事業を含む事業計画方針説明

（３）２０１８年度の東京商談会・IT 企業交流会について

出席者：

（日本側）

主　査	是永　和夫	専務理事
委　員	杉山　茂夫	常務理事
〃	木村慎一郎	常務理事
〃	須藤　俊	事業開拓部長
〃	杉原　景	日韓中小企業情報交流センター長
〃	伊藤美千代	総務部長
〃	千吉良泰三	日韓経済協会 常務理事
〃	金　侑　貞	日韓経済協会 事業企画課長
Observer	大野　祥	外務省 アジア大洋州局 日韓経済室長
〃	青山　悠	外務省 アジア大洋州局 日韓経済室
〃	桐部　仁志	経済産業省 通商政策局 韓国室長
〃	中岡　廣治	経済産業省 通商政策局 韓国室

（韓国側）

代表委員	徐　錫　崇	専務理事
委　員	劉　崇　勳	産業協力室長
〃	田　在　鎔	日本経済研究センター チーム長
〃	趙　德　卯	韓日経済協会 事務局長
Observer	趙　守　貞	産業通商資源部 東北亞通商課 課長
〃	金　泳　淑	産業通商資源部 東北亞通商課 主務官
〃	文　東　珉	駐日本国大韓民国大使館 公使参事官兼商務官
〃	金　相　孝	駐日本国大韓民国大使館 2 等書記官兼商務官補

【分科会】

日　時：２０１７年7月１１日（火）

場　所：三菱商事ビル

出席者：

（日本側）

木村慎一郎　　常務理事

須藤　　俊　　事業開拓部長

杉原　　景　　日韓中小企業情報交流センター長

伊藤美千代　　総務部長

千吉良泰三　　日韓経済協会 常務理事

金　侑　貞　　日韓経済協会 事業企画課長

（韓国側）

劉　崇　勳　　産業協力室長

田　在　鎔　　日本経済研究センター チーム長

趙　德　卯　　韓日経済協会 事務局長

３．第２５回日韓・韓日両財団連絡協議会幹事会実務者会議は下記の通り開催された。

日　時：２０１７年１２月１３日（水）

場　所：日韓財団会議室

出席者：

（日本側）

木村慎一郎　　常務理事

千吉良泰三　　日韓経済協会 常務理事

金　侑　貞　　日韓経済協会 事業企画課長

（韓国側）

徐　錫　崇　　専務理事

劉　崇　勳　　産業協力室長

田　在　鎔　　日本経済研究センター チーム長

以　上

Ⅵ. 事 務 局 人 事

特記事項なし

Ⅶ. 財　団　主　要　活　動

月　日	事　項
平成２９年	
４月２７日（木）	板垣公認会計士による監査。（２８日まで）
５月２４日（水）	BUTECH2017（第８回釜山国際機械大展）で広報及び日韓ビジネス相談受付実施。（於：BEXCO（釜山市）、２７日まで）
６月１６日（金）	平成 29 年度第１回理事会開催。（於：三菱商事会議室） 決議事項 第１号議案　平成 28 年度事業報告書、財務諸表及び公益目的支出計画実施報告書の承認の件 第２号議案　平成 29 年度第１回評議員会招集の件
２２日（木）	「第 28 回日韓中小企業商談会」開催。（於：品川プリンスホテル）
２９日（木）	・平成 29 年度第１回評議員会開催。（於：日韓財団会議室） 決議事項 第１号議案　平成 28 年度事業報告書、財務諸表及び公益目的支出計画実施報告書の承認の件 第２号議案　任期満了に伴う理事及び監事選任承認の件 第３号議案　任期満了に伴う評議員選任承認の件 報告事項 ①平成 29 年度事業計画 ②平成 29 年度収支予算 ・平成 29 年度第２回理事会。 決議事項（書面決議） 第１号議案　理事長、副理事長、専務理事及び常務理事選定の件 ・第３回企業現場人材育成事業（インターン実習プログラム）オリエンテーション実施。（於：ソウルジャパンクラブ会議室、実習生 52 名他出席）
７月１０日（月）	第 25 回日韓・韓日両財団連絡協議会幹事会開催。 日本側出席者：外務省、経済産業省、日韓財団 韓国側出席者：産業通商資源部、駐日本国大韓民国大使館、韓日財団 （於：三菱商事ビル会議室）
１１日（火）	連絡協議会幹事会分科会実施。日韓両財団事業関係者出席。 （於：三菱商事ビル会議室）
８月２８日（月）	第 18 回北陸・韓国経済交流会議が慶尚北道安東市にて開催。
９月　８日（金）	「第 29 回日韓中小企業商談会」事前説明会開催。 （於：新有楽町ビル内貸会議室）
１４日（木）	第 49 回日韓経済人会議結団式兼事前打合せ会開催。（於：三菱商事ビル会議室）
２６日（火）	第 49 回日韓経済人会議開催。（於：ロッテホテルソウル、２７日まで）
２７日（水）	「韓日産業技術フェア 2017」の主要プログラムとして「第 29 回日韓中小企業商談会」開催。（於：ロッテホテルソウル）

月　　日	事　　項
９月２８日（木）	第 3 回企業現場人材育成事業（インターン実習プログラム）フォローアップ研修＆修了式開催。（於：ソウルジャパンクラブ会議室）
１０月１８日（水）	「モノづくりフェア 2017」で広報及び日韓ビジネス相談受付実施。（於：マリンメッセ福岡、２０日まで）
１１月１２日（日）	第 3 回日韓次世代経営者交流事業をタイで実施。（１５日まで） 日本側参加者 8 名、韓国側参加者 9 名、事務局 11 名（通訳 3 名含む）。
２９日（水）	「モノづくりマッチング Japan2017」で広報及び日韓ビジネス相談受付実施。（於：東京ビッグサイト、１２月１日まで）
３０日（木）	第 16 回環黄海経済・技術交流会議（鹿児島会合）に出席。
１２月１２日（火）	「第 8 回オキナワベンチャーマーケット万国津梁大異業種交流会」で広報及び日韓ビジネス相談受付実施。（於：沖縄セルラーパーク那覇、１３日まで）
１３日（水）	第 25 回日韓・韓日両財団連絡協議会幹事会実務者会議開催。（於：日韓財団会議室）
１５日（金）	平成 29 年度第 3 回理事会。 決議事項（書面決議） 　第 1 号議案　公益目的支出計画変更の件
１９日（火）	ベトナム･ハノイで 2018 年度第 3 国ミッションの下見及び事前打ち合わせ実施。（２２日まで）
平成３０年	
1 月１７日（水）	サポーター懇親夕食会開催。（於：三菱クラブ）
１９日（金）	新春賀詞交歓会開催。（於：三菱クラブ、日韓経済協会と共催、佐々木理事長を始め多数出席）
2 月　7 日（水）	「テクニカルショウヨコハマ 2018」で広報及び日韓ビジネス相談受付実施。（於：パシフィコ横浜、９日まで）
２２日（木）	「日韓次世代 ICT 経営者交流会」事前説明会実施。（於：新有楽町ビル内会議室）
3 月　7 日（水）	京畿道板橋にて「日韓次世代 ICT 経営者交流会」開催。（８日まで）
２８日（水）	「第 19 回日韓新産業貿易会議」レセプション開催。（於：ホテルオークラ東京別館）
２９日（木）	・「第 19 回日韓新産業貿易会議」本会議実施。（於：ホテルオークラ東京別館） ・平成 29 年度第 4 回理事会。 決議事項（書面決議） 　第 1 号議案　平成 30 年度事業計画(案)承認の件 　第 2 号議案　平成 30 年度収支予算(案)承認の件 報告事項（書面通知） 　公益目的支出計画の変更について 以　上